

資料提供	
平成28年2月19日	
担当課 (担当者)	博物館 美術振興課 (三浦 努)
電話	0857-26-8045

企画展「コウゲイノモリへ ——探究する工芸家たち」 の開催および記者発表、レセプション等について

鳥取県立博物館では、平成28年2月27日(土)より「シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ ——探究する工芸家たち」を開催します。つきましては、下記のとおり記者発表、レセプション等を行いますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記者発表

日時 平成28年2月26日(金) 午後3時から
場所 鳥取県立博物館 2階会議室

内覧会・レセプション

日時 平成28年2月26日(金)
内覧会：午後4時～5時
レセプション：午後5時～6時
場所 鳥取県立博物館 展示室およびカフェ・ダール ミュゼ
内容 主催者等あいさつ、歓談

企画展 「シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ ——探究する工芸家たち」

会期 平成28年2月27日(土)～3月21日(月・祝)※休館日なし
主催 鳥取県立博物館
協賛 日本通運(株)、(株)モリックスジャパン、三和商事(株)、(株)吉備総合電設
観覧料 一般600円、前売・団体400円

概要 「シリーズ 鳥取の表現者」は、鳥取にゆかりのある、現在活躍中、もしくは近年物故した作家を、年齢、ジャンルを問わず広く取り上げ、今日の鳥取県の美術状況を紹介する展覧会である。7回目となる本展では、「コウゲイノモリへ ——探究する工芸家たち」と題し、現在県内外で活躍する実力ある工芸家8人(染織:寺口敬子、船越久美子、山下早苗、山下健 陶芸:河本賢治 有線七宝:橋詰峯子 ガラス:矢野志郎 手漉き和紙:長谷川憲人)を選び、その作品を展示する。

8人の年代は様々であるが、自己の制作を深く究めていくことで明確な視点と思考を確立し、揺るぎない歩みを続けている点で共通している。鳥取県の工芸家の表現の多様さ、クオリティの高さを示すと同時に、県内外の工芸ファンや、工芸に関心を持つ県内の学生たちに、その魅力と力量を再認識してもらう貴重な機会となることを期待する。